



12月号

昭和59年12月1日

編集/発行

岡崎市教育委員会

「継続は力なり 精一杯やりぬこう。」

みんなの声がひびく

霜の降りた山道を 今日も走る

坂道をかけおろすころには

もう 体が あたたかい

さあ プリッジをやるぞ

体が ぐんと 伸びてゆく

手が 足が

しっかと大地を ささえてる

ざらっとした冷たい土の間から

ほのかなぬくもりが伝わってくる

八十五の小さな輪が

朝の光の中で

きらきらと輝いている



(朝の運動一秦梨小)

## — 教育随想 —

少年の日、岡崎の町へ行くのは大きな楽しみだった。額田郡山中小学校の葵の校章の帽子を誇らしげにかぶり、祖父に連れられて、旧東海道を西へ歩き続ける私の脳裏には、去年も見た蓮如様のお祭りの、あの初夏の風の匂うような明るさが既に描かれていた。また、少し長じて漸く開通した愛電（現名鉄）に乗って東岡崎駅で降り、兄と共に一刻も早くと駆け

において岡崎とは桁違いだなと感じさせられた。大学生活を経て東京に勤めてみると、名古屋がいかに泥臭く思われて来た。雑然とした名古屋に比べて、東京ではオフィス街は取り澄ました冷たさを持つ反面、住宅街には、しっとりとした落ち着いた面、文化的雰囲気のある漂う東京には、流石に首都の貫禄が感ぜられた。

## 若者よ、大きく羽ばたけ

村瀬 泰 敏



つけた菅生川には、金魚・銀魚が泳ぎ回り、大輪の打ち揚げ花火が、夏の夜空に一瞬の夢を描いて見せてくれた。こんな楽しみを与えてくれる岡崎という町は少年にとって文字どおり憧れの都であった。

しかし、旧制高校に入って名古屋に三年間住み、全国から集まって来た俊秀たちと人生を論じ、寮歌を高唱しながら瑞穂ヶ丘を逍遙し、あるいは栄町の夜をそぞろ歩きたりすると、やはりスケール

昭和三十八年、興銀勤務のころ、ソ連産業視察団の一員として、ソ連、欧州を旅して以来、中東、欧州、米大陸等海外へ足を運ぶこと数十回に及んでいるが、そのたびに眼を洗われる思いがする。落日のヨーロッパと人は言うが、何と云っても西欧諸国は石造文化の国であり、永年の蓄積がどつしりと腰を据えて息づいており、そこに住む人々も高い教養に支えられてゆつたりと生きていよう

帰りに着いた東京の町が、何か薄っぺらな喧騒の巷のように思われてならない。

このように、住んだ町、旅した国等について順に述べて来たのは、人間はその住む世界、見聞した事柄次第によって、その視野、見解の広狭に差異が生ずることを言いたかったためであり、そうした観点から見ると、漸く国際舞台で重要な役割を期待されるようになったわが日本に、真の意味の国際人が輩出し、高い観点、広い視野から世界情勢に対処して行かなければ、徒らに経済面のみ肥満した国際的畸児型として蔑まれ、孤立化してしまうのではないかと恐れるからである。

ならば、真の国際人とは何か。それは単に外国語を自由に操り得る人と言うのではなく、自国文化をしっかりと身につけ、しかも、世界情勢にも通曉し、積極的に行動し得る教養人と言うのであろう。

翻って三河に眼を転ずると、気候、風土、産物に恵まれているせいか、（少なくとも私の育ったころの）三河人は温和ではあるが、積極進取の気風に乏しく、内に籠りがちのように思われる。そのような習性から抜け出せない限り、わが三河人は国際人たりえないのみならず、日本の中でも劣後してしまうのではないかと心配されるのである。

わが愛する郷土の後輩たちを、豊かな教養を持ち、物法じしない積極的な国際人に育て上げてくださるよう、教育に携わる方々に願ってやまない次第である。

（アブダビ石油社長）

## 甘言苦言

## 教師の視野



## 社会性の陶冶を

前市P連会長

米澤 高志

長い間、PTA活動に参画し各地域の会長・役員・諸先生と親しくさせて頂き多忙ではあったが、目的を共にした勉強の場を得たことを感謝している。ところが、時代と共にマスコミの興味本位の報道や父兄の若さが目立つようになり、近ごろでは何かと教育批判の声も多く、先生方も神経質にならざるを得ないようである。親の眼から見れば先生もただの社会人だが、こと生徒には尊い教えを受ける偉い人でなければならぬ。ところが、若い先生の中には教員資格をとるために学業ではエリート道を歩いてきたが、社会性という面では非常にうとい人も居られるようである。

そこで思うことだが、学区との絆を深め、学区の味をよく知っていたら、社会勉強こそが、家庭を、子供を熟知することになる方法だと思ふ。教師としての面目



# シクラメン栽培

市川 光利 氏

大門地区と言えば、ナスのハウス栽培が盛んであるが、昭和四十五年、岡崎地区で初めてシクラメン栽培に取り組んだ青年がいた。その年、安城農林高校を卒業した市川光利さんであった。

高校時代から花好きだった市川さんは、下山村など、山間部のシクラメンに負けないものを何とかここで作れないものかと思案を重ね、それまで父親が携ってきたナスに代わり、シクラメンのハウス栽培に挑戦された。

「何と言っても一番不安だったのは採算面でした。ビニルハウスを建て、寒冷紗、暖房などの設備投資を考えると、

とまどうことも多かつたけれど、年の暮れにはよく売れました。それでも、夏の暑さで花芽が遅れたり、銀杏病、軟腐病などの病気がかかったり、とにかくいへんでした。ひどい時は、ハウス全体がだめになる時がありますからね。」

その後、経営もすつかり軌道に乗り、昭和五十一年には、約二百坪のガラス張りの広いハウスを増築された。今、その中では、赤や桃、白の花が咲き始めている。大小三つのハウスを合わせて約二万鉢、労力はいへんなものである。

「一年前の十月に種まきをし、翌年の二月には、ビニルポットに移します。さらに、六、七月になると、直径十五センチの鉢に植え替えますが、灌水、消毒、換気など一時たりとも目が離せません。特に灌水は水が十分行きわたり、病気を他へ移さないためにも、一鉢ごと、根元に注意深くやらなければなりません。一人だと六時間近くかかる作業ですが、家族三人で何とか……。」

たまの日曜日、一家そろって行楽に出かけようとしても、一人はハウスの管理に残らなければならないので、なかなかむずかしいとのことであった。

しかし、市川さんは省力化にも力を注がれている。寒冷紗かけや暖房の自動化は、その最たるものである。

現在は、遠く名古屋・浜松まで出荷しているが、年内に作業を完了させるために、多忙期は、やはり年末年始に向けての十二月になる。その時は、母方の親戚

まで手を借りて大わらわの作業になるそうである。

「今は、お客さんの好みも多様化しているので、十種類以上用意してあります。それでも、一番需要があるのは、赤色のようです。うまく管理すれば、一年、二年と長持ちしますよ。夏は涼しいところに置いてやってください。冬には、きつと美しい花を咲かせてくれますよ。」

草花を育てるのは、人を育てる細やかな愛情が必要とされる。

ハウスを眺め渡しながら語られる表情は柔和で、まさしく花を愛する人の顔である。

岡崎市大樹寺二の十四  
昭和二十七年一月九日生



にこだわらず、胸襟を開いて子供の心をつかみ、柔軟な対応に心掛ける先生こそ、真の教師ではなかるうか。

## 三者 一体

城北中学校長

藤井 清

十月三十一日、県中学校技術・家庭科研究大会が本校で開催された。大会運営がうまく行ったとか、来賓や参加者が多勢だったとかと言うことよりも、会場校の一人として密かな喜びと誇りであったことは、参加者の唇から「この学校の生徒はできている」と漏れた一言である。

教師の第一歩は、まず自分の学級や学校の生徒に誇りを持つことから始まる。

今年、ふたつの運動部が全国大会出場 の機会に恵まれた。

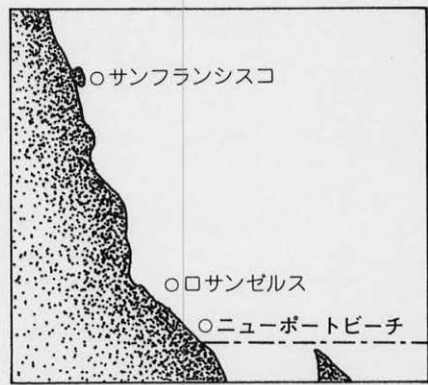
そこでの、父母・教師・生徒の一体感 は、まことに凄まじいものであった。

生徒と父母と教師の歯車が噛み合い、 一体となったとき、生徒は急速に伸び育 つものである。

生徒を中心に据え、生徒たちが互いに善 風を競い、感動を高め合う気風が、家庭・ 社会・学校から薄れているところから病 める中学校が生まれていると思うのは言 い過ぎであらうか。

家庭と教師と生徒の信頼関係が確立さ れている時、個々の生徒は安定し、その 生徒集団のパワーは壮大でもある。

- ① 岡崎南ロータリークラブが友好記念として寄贈した灯籠の前に立つ使節団。
- ② 日本の小旗を贈られて大喜びのハート市長さん。
- ③ ロータリアンのボートで風光明媚なニューポートビーチの湾内を遊覧。
- ④ エンサイン中学校の授業風景。なごやかで、生徒はとても人なつこい。
- ⑤ 中学校の給食はバイキング方式。昼食代は一、二ドル。その場で支払う。
- ⑥ カボチャをくりぬいて中に灯りをとめます。ハローウィン祭(悪魔払い)の景物。
- ⑦ 親身なもてなしを受けたホームステイ。



# 中学生の親善使節⑤

— ニューポートビーチ訪問 —

本年度岡崎市中学生海外親善使節団代表中学生四名、付き添い南中本多允子教諭、矢作中石川佳宏教諭、市教委岩月健指導係長)は、十月十二日から二十一日までの十日間、昨年、一昨年とほぼ同じ行程で、アメリカの西海岸都市を訪問した。特に十一月下旬、岡崎市と姉妹都市になったニューポートビーチでは、次のようなスケジュールで三日間滞在した。

本年度岡崎市中学生海外親善使節団代表中学生四名、付き添い南中本多允子教諭、矢作中石川佳宏教諭、市教委岩月健指導係長)は、十月十二日から二十一日までの十日間、昨年、一昨年とほぼ同じ行程で、アメリカの西海岸都市を訪問した。特に十一月下旬、岡崎市と姉妹都市になったニューポートビーチでは、次のようなスケジュールで三日間滞在した。

- ・ ジママン氏宅で歓迎会
- ・ 中学生は各ホストホームへ
- 十月十六日・ハート市長訪問
  - ・ エンサイン中学校訪問
  - ・ ハーパー・ツアー
  - ・ ホストホームで自由時間
- 十月十七日・ウエアハウス、セントラルキッチン、データセンター、メディアセンター見学
  - ・ ハーパー高校訪問
  - ・ バルボア・ロータリークラブ
  - ・ 例会出席
- 十月十八日・ニューポートビーチ出発

ニューポートビーチとのお付き合いはすでに三年目で知人も多く、心からのもてなしに一同とても感激した。ホームシックなど無縁の言葉であった。また、エンサイン中学校では岡崎市中中学生とのペンパル希望者も多く、後日、アドレス、氏名を市教委あてに送っていたと予定である。姉妹都市締結、中学生同士の文通両市の交流はますます深まって行くことが予想される。





中学校訪問

ニューポートビーチでの二日目、我々はエンサイン中学校を訪問しました。その学校の中学生は自由な服装の上に化粧をし、イヤリング等のアクセサリーを身につけていて、大人のようにであったのは驚きました。中学校では、生徒会役員とすぐ打ち解けることができました。この中学校には、コンピュータの授業を受けるための専門の教室もあり、設備が充実していて、うらやましいなあと思いました。一通り学校を案内してもらった後カフeteriaで中学生と一緒に話をしながら食べた昼食は最高でした。また、その後の交歓バレーボールは、たいへん楽しかったです。生徒は陽気で親切で親しみやすく、とても印象的でした。

(福岡中 織田 正人)



個性の重視

「いいなあ、アメリカの学校って。自由で、個性が生きているんだもん。」というのが、学校訪問の印象。服装や態度が開放的でよいというだけではなく、授業のプログラムにも、その子の持つ才能を引き出すような趣味的な授業があったり、プライベートな時間を大切にしている所も魅力的でした。学生は皆、三時に下校するわけですが、その後、アルバイトをしたり、生徒間でパーティーをしたりします。日本だったら、とんでもない話ですが、アメリカとの国民性のちがいもあり、向こうではそれらはすべて社交とみなされているのです。なにより、生徒のみんなの伸び伸びとした笑顔が、印象に残りました。

(城北中 橋爪みちる)



Amigo (ともだち)

夢にまで見たアメリカ。その中でも一番心に残っているのはニューポートビーチでのホームステイです。全く知らない外国人家庭に一人で過かさねばならぬ不安と、岡崎市の中学生の代表だという緊張感を抱いて家庭に入ったばかりでしたが、ドクター・コノバー家の厚いもてなしで、そんな不安や緊張も一度に飛んでいってしまいました。ぼくが日本語や、日本の文字「漢字」が中国から来たこと、音と訓の二通りの読み方があることなどを教えると、彼らはよくにスペイン語を覚えてくれました。今でもそのスペイン語の響きはぼくの耳にしつかり残っています。

Mucho gracias mi amigo!

(東海中 田中 清隆)



ホームステイ

感動の十日間の中でも、一番思い出深いニューポートビーチでのホームステイ。私はジマーマンさんという方のお宅にお世話になりました。親切でさっぱりとしたところがアメリカ人らしい方たちでした。いっしょに海に行ったり、アルバムを囲んで話したりしたことがとても楽しくて心に残っています。私が何かしゃべろうとすると、耳をすませて聞いてくださるのが何よりうれしかったことです。ご主人は私をちっちゃなレディとして、奥さん本当に親身になってよくしてくださいました。人間、どこの国も、近いな。自然な親しみを感じた三日間は、私の一生の大切な思い出。感謝するとともに今後には生かさなくては、と考えています。

(常磐中 矢戸久美子)



あの青い空のように

福岡小 糟谷 京子

よろこび ひろげよう  
ちいさな ぼくたちだけで  
あのあおい そらのように  
すみきった 心になるように

やさしい笛の音、力強いけん  
ばんハーモニカの音、軽やかに  
響くピアノの音。六年三組の  
演奏に合わせて歌った。ことば  
のほとんどないKが歌った。

「ヨロコビ ヒロゲヨー

……ボクたち……ド

……アオイ…………二」

この音楽集会の発表まで、何  
度も一緒に練習した。練習時間  
がくると、

「Yくうん おいで。」



「Sちゃん、いくよ。」  
「K君、わたしたちといこつ。」

「Tちゃん」

と、群になって、迎えに来ては  
抱っこしたり、手をつないだり  
してくれたり。お兄さん、お姉さ  
んに囲まれた子どもたちは、ど  
の子どもにこやかな顔になった。

毎朝、職員室を訪れるKは、

私より早い。先生方のあたたか  
いまなざしに守られての一日の  
始まりである。出勤してきた私  
が顔を見せると、

「オ・ハ・ヨ」と一言。

「もう 教室へ行きなさいよ。」

先生たちのお話が始まるよ。」  
の声に、小走りに出て行く。鼻  
歌でも聞ければ、今日の気嫌よ  
しということになる。

Yは、

「シツレイシマース。」

と飛び込んでくる。

「スギウラセンセイイ」

「オオガキセンセイイ」

と呼ぶYをにこやかに受け入  
れてくださる先生方である。

たった五人の子どもたちなの  
に、私ひとりではどうにもなら  
ないことがあるけれど、子ども  
たちは、たくさんの人に見守ら  
れている。私はその厚情に支え  
られて、子どもたちと共に歩ん  
でこられたことを痛感している。

教育日々



一点の光

小豆坂小 鈴木 育男

「ただいまの百メートルの結果  
をお知らせします。一位……。

六位、A君。小豆坂小学校。

記録十五秒二。以上でした。」

「ただいまの六十メートルハー  
ドルの結果。六位、Mさん。

小豆坂小学校。記録……。」

本年度、四十番目の小学校と  
して開校した本校の陸上競技大  
会への結果は、皆さん御承知の  
とおり。クーベルタン男爵は、

よくぞ言ってくれたものだ。  
「大会は、参加することに意義  
がある」と。

陸上部が発足して以来四か月  
間、男子十九名、女子二十四名、

大会を目指して練習に励んでき  
た日々が思い出される。

選手の申し込み締め切り日が  
間近になったある練習日。

「今日は校内記録会だ。これが  
最終回になる。そのつもりで  
全力を出しやってみてほしい。」  
子どもたちは、この記録会の  
意味を十分に承知している。今  
まで何度記録会を行ってきただ  
ろうか。そのたびに、笑顔にな  
る子、困った顔になる子、今に  
も泣き出しそうな子と、様々な  
顔が生まれてきた。この子たち  
の顔を見るたびに、全員出場さ  
せてやりたい情に駆られた。

「先生、記録が一秒三上があった  
よ。市内のより二秒一も遅い  
けど、大会に出してくれる？」

記録会終了後、A男が自己記  
録が更新できた喜びと、出場で  
きるのだろうかという不安な気  
持ちとが入り混じった複雑な顔  
で話しかけてきた。

このA男も、出場はしたものと  
思うところである。

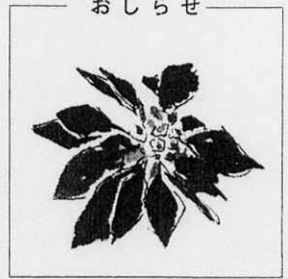
の、結果は、予想通りであった。  
レース終了後、控え席に戻った  
彼の顔は、さわやかそうであつ  
た。その顔の中に、わたしはA  
男が陸上部員として、夏の暑い  
太陽が照りつけるもとの、厳し  
い練習に耐え、出場できた喜び  
を見つけた。

結果のみにこだわらず、他の部  
活から、A男より速い児童を出  
場させれば、わたし自身は満足  
が得られるだろうが……。

「先生は、ぼくが疲れても、足  
が痛くても、どんどん走らせ  
るんだもん。厳しいよ。でも  
休憩時間にみんなでゲームを  
したり、部活が終わってから  
プールに入ったりして、陸上  
部は楽しかったよ。」

来年も、これでいこうかなと  
思うところである。





【寄贈刊行物】

◆君たちに栄光あり大久保慎一  
B5 一〇九ページ  
◆すすんで読み解く子を育てる  
A5 二二三ページ 矢西小  
◆基本的な生活態度の徹底をはかり活力ある生徒の育成  
B5 二二ページ 南中

# 新教育委員に深田三太夫氏

## 天野一太氏の任期満了

市教育委員としてご活躍いただいた天野一太氏の任期満了（十一月十六日）に伴い、新しく市教育委員として深田三太夫氏が選任された。  
教育長横井滋氏も再任され、任期は両氏とも十一月十七日から四年間である。

した積極的な活用が期待されている。  
導入にあたっての指導者講習会は、十二月上旬に二回、一月中旬に一回の計三回が予定されている。

### ■市内全中学校へパソコン導入

各中学校より要望されていたパソコンの導入については、特別委員会（各中学校パソコン担当者会）を設けて、活用の仕方や機種選定などについて慎重に検討を加えてきた。

十二月中旬には、各中学校へ五台ずつのパソコンが設置される。正課クラブの時間を中心と

場 期 日 昭和59年12月25・26日  
場 所 少年自然の家  
講 師 外山滋比古氏ほか

### ■第十一回冬季研修会

長賞に選ばれた。

## 昭和59年度秋季小中学校各種競技記録

### 第17回岡崎市中学校新人総合体育大会成績

10月20～28日

種 目	性	1 位			2 位			3 位		
		氏名	校名	記 録	氏名	校名	記 録	氏名	校名	記 録
軟式野球	男	岩津東海	新香山・葵							
ソフトボール	女	城北南	岩津・甲山							
ハンドボール	男	美川六ツ美	葵・城北							
	女	美川葵	六ツ美・岩津							
軟式庭球	男	竜海矢作	甲山・矢作北							
	女	美川矢作	福岡・城北							
卓球	男	東海南	附属・新香山							
	女	矢作北	東海竜海・河合							
バレーボール	男	岩津六ツ美	矢作北・矢作							
	女	竜海矢作	南・福岡							
バスケットボール	男	岩津矢作	葵・美川							
	女	葵甲山	美川・南							
サッカー	男	六ツ美新香山	矢作・福岡							
	女	矢作北	常磐福岡・南							
剣道	男	矢作北	六ツ美美川・附属							
柔道	女	美川竜海								
体操競技	男	竜海東海	甲山							
	女	竜海南	矢作北							
陸上競技	男	南葵	矢作							
	女	甲山美川	葵							
水泳競技	男	矢作甲山	竜海							
	女	矢作竜海	甲山							

### 第23回岡崎市小学校陸上競技大会成績

愛知県岡崎総合運動場 10月28日

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
男子総合	矢作西	細川	大樹寺	緑丘	連尺	竜美丘
女子総合	大樹寺	細川	連尺	美合	緑丘	大門

### 陸上競技個人記録

（中学校）

種 目	男 子			種 目	女 子		
	氏名	校名	記 録		氏名	校名	記 録
100M	竹内 敦史	六ツ美	11"9	100M	中村由貴子	甲山	12"9
200M	磯谷 剛	六ツ美	25"2	200M	岡田 恭子	葵	27"8
400M	松本 啓介	南	55"8				
800M	杉山 直史	南	2'14"3	800M	加藤 由香	城北	2'31"3新
1500M	酒井 淳司	甲山	4'48"6				
3000M	斎藤 貴裕	竜海	9'46"1				
100MH				100MH	渡辺 美香	六ツ美	16"6
110MH	浅井 正明	葵	17"3				
走幅跳	神谷 誠	矢作	5 m72	走幅跳	岡崎 薫	美川	4 m66
走高跳	脇田 明臣	矢作	1 m65	走高跳	柴田 恵美	美川	1 m35
棒高跳	鈴木 善博	美川	2 m40				
砲丸投	坂崎 真二	常磐	12 m40	砲丸投	小手 尚子	矢作	10 m51
400MR				400MR	美 川 中		54"6
800MR	南	中	1'42"0				

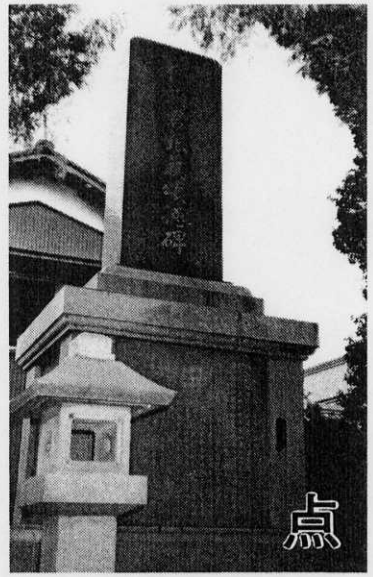
新=大会新記録

### 陸上競技個人記録

（小学校）

種 目	男 子			種 目	女 子		
	氏名	校名	記 録		氏名	校名	記 録
100M	牧野 満	矢西	13"2	河村留理子	連尺	13"5	
60MH	純浦 好美	矢西	8"7新	杉浦千絵美	大樹寺	9"4	
1000M	寺田 裕一	竜美丘	3'08"3新	宮村 礼	大門	3'21"5	
400MR	矢 作 西 小		54"1	連 尺 小		56"5	
低400MR	連 尺 小		59"9	細 川 小		1'00"9新	
走高跳	鳥羽 奨	大樹寺	1 m48新	島田 晴代	美合	1 m29	
走幅跳	佐藤 敏彦	連尺	4 m51	赤星 陽子	美合	4 m40	
ソフトボール投	山田 一成	藤川	72 m50	神谷 綾子	細川	52 m41	

新=大会新記録



所在地一岡崎市康生通西

## 杉浦銀蔵頌徳碑

家康館に程近い国道一号线龍城橋の東たもとに杉浦銀蔵の顕彰碑がある。高さ六メートル近い堂々たる碑である。

杉浦銀蔵は西尾生まれで滝田の杉浦家に養子して明治四年に銀蔵を襲名。岡崎で初めて洋反物を手がけ、織布工場も経営した実業家である。

銀蔵の最も顕著な活躍は明治三十年の「岡崎電燈」の創設である。当時は、まだ電気知識が乏しく、パテレンの魔法とか水から火がおこせるものかと信用されなかつた時代である。

岡崎から四里も離れた郡界川に発電所を建設し、滝田の自宅

まで電線を引いて電灯をとまず

という大事業であった。開業式のイルミネーションを見て、人は銀蔵の先見性を高く評価したという。その後、「岡崎電燈」

は地元実業家の支援を得て順調に発展し、名実ともに三河地方の近代産業のエネルギー源を担う会社として発展するのである。

「岡崎電燈」の盛衰を著した「三河電界統制史」には、「岡崎の進歩主義者、用意周到にして智謀あり、理財の道に天稟の才を有す」と銀蔵を紹介している。

碑の台座には銀蔵の遺業が記されている。撰文は郷土の生んだ地理学者志賀重昂である。

●カ  
ツ  
ト  
美  
川  
中  
山  
本  
秀  
樹



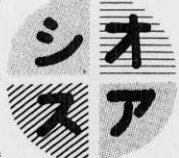
*子どもが変わる教師	北村 唯吉
明治図書	1700
*不如意の美	入江 相政
中央公論社	1100
*子育ては言葉の教育から	外山滋比古
PHP研究所	980
*仕事の童話集	ザレンビーナ
晶文社	1400

*橋と日本人	上田 篤
岩波書店	430

歌謡や和歌・紀行・随筆などに、日本人の「橋」観をさぐる一方、現在もなお存在し使用されている橋の実地調査を手がかりに、古い橋の姿を浮かび上がらせている。

かけはし・うきはし・いわはしなどと11に分類し、典型的な構造をもつものを多数の写真や地図を入れ紹介している。ユニークな日本文化論の書である。

「大きく口を開けて、ピアノ(弱く)の音を出していこう」合唱コンクールでのことである。中三の迫力ある声に勝つには、小柄な者が多い我がクラスではピアノの音で聞かせるしかない。みごと予選通過。日ごろ、子供の短所を責めがちな私には長所を認め励ますことがより大きな力となることが再確認できた。



親しき仲にも礼儀あり、とは先人の戒め。礼とは間柄を大事にすること。職分を自覚し責任を果たすために努力する。これも礼のうち。

上司に甘え、同僚に狎れ合うその日暮らしては組織の活性化は望むべくもない。省みて忸怩たる中に歳末が迫る。

温かい心にふれたときほど、心のなごむことはない。「点」の取材のために犬尾神社をたずねたときのこと。九十二歳のおじいさん、総代さんの家のおばあさんの親切、宮係の方の親身な心配り。七つの神さんを大事にお守りしている下和田の人たちの温かいもてなしに接して心豊かに帰路に着いた。

すばらしかった十日間の体験を語る中学生たち。アメリカの雄大な自然と率直で人なつこい人々に接した感動は彼らの胸に刻みこまれたにちがいない。若い世代が広く世界に視野を広げ、国際社会で活躍する第一歩となるだろう。岡崎を、日本を世界の人々に本当に理解してもらえぬ日も近いだろう。